矢場とん カンボジア便り Vol.8

報告 矢場とん 第５班が 2010 年６月 21 日～ 25 日 カンボジアに行ってきました。

コンポンスプー州 ウドン郡 スワイポーク村

矢場とんカンボジアスクール開校からもうすぐ2年が経ちます。私たちは年に数回に分かれ、運営は順調なのか、ため池には水が溜まってきているのかを確認に渡航してきました。





今回の研修では矢場とんスクールでの交流と2校目の建設候補地を視察することが目的でした。

新しい学校の候補地は「スワイポーク村」。近くに学校のない村です。どの子も約1時間かけて学校に通っているそうです。自転車がなく通えない子や小さい子は危なく心配で通わせられないとのことで、近くの3つの村の子どもたちが一緒に通える小学校を建てて欲しいというお願いをされました。

実際は遠いという理由だけでなく、貧しい故に子どもに手伝いをさせ通わせなかったり、通わせるお金がないという家庭もありました。その理由を聞き女将は、子どもの将来、これからの村の為にも、学校で教育を受けさせて欲しいと母親たちに真摯に伝えました。彼女たちは、ここに学校が建ったら必ず通わせると約束してくれました。



会が終わっても、女将の手を握り学校建設を懇願する母親もいました。



少しでも長く支援を続ける事、新たな学校の建設。そして一貫性があるカンボジアへの支援。矢場とんはこれからも活動を続けていきます。

皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

矢場とんスタッフ

矢場とんカンボジアスクール



交流会での新しい試み「すもう」。スタッフ2人の見本の後、こどもたち同士で取り組みをしました。勝った負けたに大声援!



先生にも参加してもらい、2回目の野球交流をしました。今回は実践を通してルールを伝えました。





二人三脚もとい四人五脚です。友達とがっちり肩をくんで、この笑顔。





昨年の2月に掘られたため池にもしっかりと水が溜まりました。しかしこの水が澄んで生活用水として使用できるにはまだ2年もの歳月がかかるそうです。



リコーダーを教える先生がいないため、持ち方も音階も知りませんでしたが、どの子も新しい楽器に触れ、夢中になって吹いていました。



クラリネットの演奏。初めての音色に子どもたちが徐々に集まってきました。







今回のプレゼントのひとつサッカーゴール。子どもたちの熱意が通じ、愛西学園弥富高等学校より寄贈されました。



日本語交流では発音から始めプレートを使っての言葉遊びをしました。



待ちに待った一人一冊の国語、算数、社会の教科書が弥富高等学校より寄贈されました。寄贈の証に、募金活動の合言葉にしてきた「空」という文字を入れました。



裸足の子も多いため、全員にビーチサンダルをプレゼント。早速履いて帰る子もいました。



教科書等の教材を保管する棚です。各教室に弥富高等学校より寄贈されました。

募金にご協力、ありがとうございます。

＜寄贈＞

サッカーゴール、棚、教科書:弥富高等学校
サッカーボール:FM愛知 DJ 黒岩唯一様・株式会社アルファポイント様
衣類・文房具:森平様と職場の皆様
お菓子:株式会社サンビジネスコンサルティング 平野様
体温計・体重計・血圧計・ビーチサンダル・ノート・ペン:矢場とん